

令和元年5月28日(火)

土砂災害を想定した防災訓練(案)

呉市立片山中学校

- 1 日時 令和元年6月10日(月) 15:30~15:55
- 2 ねらい 大雨が降り、土砂災害の危険が迫った時、正しく行動できるとともに、生徒を安全な場所へ避難させる。
- 3 想定 土砂災害警戒情報が発表され、本校を含む地域が土砂災害警戒判定メッシュ情報「実況または予想で大雨警報の土壌雨量指数基準に到達」(赤色)に判定された。

4 実施内容

| 時刻 | 主な流れ | 生徒の行動 | 教職員の行動 | 備考 |
|-------|--|--|---|--|
| 15:30 | 1 土砂災害警戒情報が発表され、本校を含む地域が土砂災害警戒判定メッシュ情報“実況または予想で大雨警報の土壌雨量指数基準に到達(赤色)”に判定されたことを広島県土砂災害危険度情報、および気象庁土砂災害警戒判定メッシュ情報で確認(校長・教頭) | | | |
| | 2 土砂災害発生の可能性があるため、避難放送を指示する。(校長) | | | |
| 15:33 | 3 放送を行う。(教頭) 「訓練、土砂災害発生の可能性ありますので避難をします。全校生徒は先生の指示に従って各校舎の最上階に避難しなさい。」 | 担当(担任)の教師の指示に従って避難する。 保健室にいる生徒は養護教諭の指示に従って避難する。 トイレにいる生徒は教師が確認に来るまでその場に待機する。 | 担当(担任)の教師は校内の各校舎最上階に生徒を避難誘導する。 養護教諭は保健室にいる生徒を校内の北校舎3階に避難誘導する。 学年担任は、トイレに生徒がいないかを確認をしながら学年の避難場所に向かう。 校長は南校舎4階、教頭は北校舎3階に向かう。 | 避難場所を生徒に確実に知らせておく。 おさない、はしらない、しゃべらない、もどらないを厳守する。 異学年が出会った時は低学年を優先する。 PCルームは地域からの避難者の避難場所とする。鍵は教頭があける。 |

| | | | | |
|-------|---|------------|-----------------|-----------------------------------|
| 15:40 | 4 | 各校舎最上階に集合。 | 教師の指示に従って整列。 | 人員点呼をし、速やかに報告。 学級担任→学年主任→校長・教頭 |
| 15:45 | 5 | 各教室に戻る | 教師の指示に従って教室に戻る。 | 生徒を教室に誘導 |
| 15:50 | 6 | 校長先生による講評 | 着席 | 生徒を着席させる |
| 15:55 | | 終了 | | |

5 役割分担

| | | |
|--|--|--|
| 【総括本部班】 ・本部長 校長 ・連絡対応・情報収集 教頭 | 【生徒対応班】 ・班長 生徒指導主事 ・副班長 各学年主任 ・班員 各学級担任 | 【地域・保護者対応班】 ・班長 教頭 ・班員 学級担任以外 |
|--|--|--|

◇最上階に避難した際の避難教室は、2年1組が1年2組、2年2組は1年1組、3年2組は3年1組とする。避難教室では、机を中央によせ前と後ろに分かれて待機する。

